

番号	氏名	抱負
31	船橋 正夫	<p>この度理事に立候補いたしました。現在、技術学会は変革期の重要な時期を迎えています。国際化への急速な展開、厳しいと評判の倫理審査…と順調な中にも多くの批判があることでしょう。私はここからがより重要な時期だと考えています。まず多くの会員の皆様に学会の方向性について情報を伝えること。理解を求めること。会員の求める夢を聞くこと。その夢を共有すること。このように、あらゆる局面で真摯な議論を繰り返していくことだと思います。学会は人類(ひと)のためにあります。そのためにどのような運営や推進が必要なのか。現職である副代表理事としての取り組みのその先に向けて、会員とともに今あるべき学会の姿を追求・推進・実践していきたいと思っております。</p>
32	赤澤 博之	<p>学会として、基盤となる事業を担っている大会開催・企画・学術・教育・編集・出版などの委員会のほか、研究分野ごとに特化した専門部会ならびに地域性をベースとした地方支部では、社会のニーズや動向に応じたセミナー・研修会を開催したり、研究発表の場を提供するなど、学会として主だった事業を展開しています。しかし、学会にはこれ以外にも重要な仕事があり、その方向性を予算配分の面から決める財務委員会や、他の委員会が扱わない雑多な領域を受け持つ総務委員会がこれに当たります。ただ、直接的な会員サービスに繋がる事柄が少ないため、外部から見えにくいことも否めません。今回、総務委員長、財務委員長としてのこれまでの経験を生かし、自らの責務・役割を果たすべく、学会を運営する理事に立候補しました。学会としての継続性を担保し、学術事業の発展を支える所存です。どうぞよろしくお願い致します。</p>
33	千田 浩一	<p>放射線技術学に関する研究と教育の推進、学術の進歩発展に寄与したい。そのために学会員の研究成果(学会発表等)の論文文化推進の支援や、多くの学会員が科研費等の研究費(競争的外部資金等)を申請獲得できるように貢献したい。そして会員数(学生会員等を含む)の増加や、さらに関係する他の学術団体や研究者等との連携や協力を進め、当該領域における研究等の推進に努めたい。また、一般市民に対する積極的な情報提供、特に放射線に対する正しい理解の普及について、より一層貢献したい。</p>